



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本電気硝子株式会社
 コード番号 5214 URL <http://www.neg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 松本 元春
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 津田 幸一
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 077-537-1700

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	61,094	—	4,594	—	2,298	—	△508	—
26年12月期第1四半期	65,440	—	1,234	—	1,415	—	3,013	—

(注)包括利益 27年12月期第1四半期 1,277百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 3,521百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	△1.02	—
26年12月期第1四半期	6.06	—

(注)当社は平成26年12月期から決算期(事業年度の末日)を3月31日から12月31日に変更しています。当第1四半期の連結対象期間(当社、国内及び海外連結子会社:平成27年1月1日～同年3月31日)は前第1四半期(当社及び国内連結子会社:平成26年4月1日～同年6月30日、海外連結子会社:平成26年1月1日～同年6月30日)と異なるため、対前年同四半期増減率を記載しておりません。なお、海外連結子会社の平成26年1月1日から同年3月31日までの損益については、前第1四半期の連結貸借対照表における株主資本の利益剰余金に直接加減しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	722,356	519,299	71.0
26年12月期	731,184	522,577	70.2

(参考)自己資本 27年12月期第1四半期 512,797百万円 26年12月期 513,633百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	8.00	—	4.00	12.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注)1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 前期は9か月決算のため、12か月換算で1株当たり16円となる年間12円(中間8円、期末4円)の配当を実施しました。

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	120,000	—	7,000	—	4,000	—	1,000	—	2.01
	～126,000	—	～9,000	—	～6,000	—	～2,000	—	～4.02
通期	257,000	—	13,000	—	9,000	—	8,000	—	16.08
	～263,000	—	～15,000	—	～11,000	—	～10,000	—	～20.11

(注)1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 当期は前期と比較対象期間が異なるため、対前年同四半期増減率及び対前期増減率を記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料3ページ2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期1Q	497,616,234 株	26年12月期	497,616,234 株
27年12月期1Q	231,024 株	26年12月期	228,870 株
27年12月期1Q	497,386,515 株	26年12月期1Q	497,394,402 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は添付資料3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) （参考）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[第1四半期連結累計期間]

①概況

世界経済は、欧州では一部地域をめぐる地政学的リスクや政府債務問題などへの懸念はあったものの、景気は持ち直しの動きが続きました。米国では堅調な雇用情勢や個人消費などを背景に回復基調で推移しました。一方、中国では成長のペースが一段と鈍化しました。国内経済は、個人消費が底堅く推移する中、企業収益や雇用情勢の改善が見られるなど、緩やかな回復が続きました。

このような中、当第1四半期(平成27年1月1日～3月31日)は、売上面では主力の液晶ディスプレイ(LCD)用基板ガラスの価格下落があった一方で、ガラスファイバや光関連ガラスなどの販売が堅調に推移しました。また、損益面では生産性改善や費用削減が進みました。

②経営成績

	前第1四半期連結累計期間 (26/4～26/6) (億円)	当第1四半期連結累計期間 (27/1～27/3) (億円)
売上高	654	610
営業利益	12	45
経常利益	14	22
純利益	30	△5

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(製品別売上高)

報告 セグメント	区分	前第1四半期連結累計期間 (26/4～26/6)		当第1四半期連結累計期間 (27/1～27/3)	
		金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)
ガラス事業	電子・情報用ガラス	462	71	409	67
	その他用ガラス	191	29	201	33
合計		654	100	610	100

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

(売上高)

電子・情報用ガラス：

LCD用基板ガラスは安定した出荷が続く一方で製品価格が下落し、また、モバイル端末用カバーガラス(化学強化専用ガラス)は季節変動の影響を受け、それぞれ販売が低下しました。電子デバイス用ガラスは、イメージセンサ用カバーガラスの販売がデジタル一眼カメラ向けを中心に底堅く推移しました。光関連ガラスは、通信インフラ需要の拡大を背景に好調な販売が続きました。太陽電池用基板ガラスは、概ね堅調でした。

その他用ガラス：

ガラスファイバは、自動車部品向け高機能樹脂用やセメント強化用の需要を背景に販売が増加しました。建築・耐熱・その他の事業では、建築用が国内向けを中心に低調であったものの、耐熱ガラスや医薬用管ガラスは概ね堅調に推移しました。

(損益面)

LCD用基板ガラスやガラスファイバなどの生産性改善や費用削減が進み営業利益が改善しました。一方、マレーシア子会社の外貨建て借入れに関する為替差損が経常利益の水準を、また、平成27年度税制改正(法人税率等の引き下げ)に伴う繰延税金資産の取り崩しが純利益の水準を、それぞれ押し下げる要因となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(平成27年12月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想)

	平成27年12月期 第2四半期連結累計期間 (27/1～27/6) (億円)	平成27年12月期 通期 (27/1～27/12) (億円)
売上高	1,200～1,260	2,570～2,630
営業利益	70～90	130～150
経常利益	40～60	90～110
純利益	10～20	80～100

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

世界経済は、一部地域をめぐる地政学的リスクや政府債務問題、中国の景気動向など、先行き不透明感はあるものの、米国経済が堅調に推移するなど、総じて緩やかな回復が続くものと期待されます。国内経済は、雇用や所得環境の改善傾向が続く中、各種政策効果などもあり回復基調をたどるものと見込まれます。

このような中、第2四半期（平成27年4月1日～6月30日）においては、電子・情報用ガラスでは、LCD用基板ガラスは安定した出荷が続くものと予想しています。光関連ガラスや電子デバイス用ガラスは、通信や家電分野など関連市場の成長に沿って伸長するものと見込んでいます。太陽電池用基板ガラスは、安定した出荷を予想しています。その他用ガラスにおいては、ガラスファイバは堅調な需要の下、この春稼働を開始したマレーシア子会社の新設備による増産が拡販に寄与する見通しです。建築用・耐熱ガラスなどは、緩やかに回復するものと見込まれます。

一方、損益面では、ガラスファイバにおいて上述の新設備に係る減価償却費や立ち上げコストなどが見込まれますが、早期に安定稼働を実現しコストを吸収するとともに、グループを上げて生産性改善や費用削減を推し進め、収益性の向上を図ってまいります。

以上の見通しを踏まえ、当社グループの平成27年12月期第2四半期連結累計期間の業績を上表のとおり予想しています。あわせて、通期連結業績予想については、これを据え置くことといたします。

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場的大幅な変動、ドル・ユーロなど対円為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化などが含まれますが、これ以外にも様々な要素があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第1四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	149,742	138,760
受取手形及び売掛金	48,026	46,099
商品及び製品	33,603	36,387
仕掛品	1,620	1,363
原材料及び貯蔵品	20,837	21,189
その他	10,240	8,386
貸倒引当金	△71	△67
流動資産合計	264,001	252,119
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	286,979	291,712
その他(純額)	110,293	104,971
有形固定資産合計	397,273	396,683
無形固定資産		
	2,948	3,543
投資その他の資産		
その他	67,025	70,075
貸倒引当金	△62	△66
投資その他の資産合計	66,962	70,009
固定資産合計	467,183	470,236
資産合計	731,184	722,356
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,180	27,916
短期借入金	15,340	22,624
未払法人税等	1,301	1,689
その他の引当金	49	32
その他	33,827	31,678
流動負債合計	82,700	83,941
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	40,800	33,300
特別修繕引当金	32,854	33,702
その他の引当金	62	28
退職給付に係る負債	1,217	1,235
その他	971	848
固定負債合計	125,906	119,115
負債合計	208,607	203,056

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,350	34,350
利益剰余金	423,763	421,265
自己株式	△280	△281
株主資本合計	489,989	487,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,882	21,592
繰延ヘッジ損益	△763	△513
為替換算調整勘定	6,525	4,229
その他の包括利益累計額合計	23,644	25,307
少数株主持分	8,943	6,502
純資産合計	522,577	519,299
負債純資産合計	731,184	722,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	65,440	61,094
売上原価	57,232	48,986
売上総利益	8,208	12,108
販売費及び一般管理費	6,973	7,514
営業利益	1,234	4,594
営業外収益		
受取利息	49	93
受取配当金	503	81
為替差益	271	—
その他	324	333
営業外収益合計	1,148	508
営業外費用		
支払利息	181	212
為替差損	—	1,638
休止固定資産減価償却費	563	572
その他	222	380
営業外費用合計	967	2,803
経常利益	1,415	2,298
特別利益		
特別修繕引当金戻入額	3,935	—
その他	98	—
特別利益合計	4,033	—
特別損失		
固定資産除却損	64	63
減損損失	1,323	—
特別損失合計	1,387	63
税金等調整前四半期純利益	4,061	2,235
法人税等	815	2,621
少数株主損益調整前四半期純利益	3,245	△386
少数株主利益	231	122
四半期純利益	3,013	△508

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,245	△386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	636	3,710
繰延ヘッジ損益	△233	249
為替換算調整勘定	△126	△2,295
その他の包括利益合計	275	1,664
四半期包括利益	3,521	1,277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,296	1,154
少数株主に係る四半期包括利益	225	123

(3) (参考) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,061	2,235
減価償却費	8,517	8,793
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	△3,067	847
売上債権の増減額(△は増加)	△176	1,306
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,735	△2,029
仕入債務の増減額(△は減少)	△208	△5,419
法人税等の支払額	△1,926	△1,349
その他	△1,655	1,196
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,279	5,581
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△7,682	△12,082
その他	△4,633	3,328
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,315	△8,754
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長短借入金及び社債等の純増減額(△は減少)	△65	△215
配当金の支払額	△3,678	△1,855
少数株主への配当金の支払額	—	△2,162
その他	△19	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,763	△4,251
現金及び現金同等物に係る換算差額	81	241
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,717	△7,182
現金及び現金同等物の期首残高	123,887	129,823
決算期変更に伴う現金及び現金同等物の減少額	△6,381	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	109,788	122,640

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。